

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

特集

京田辺校地

開校20周年記念

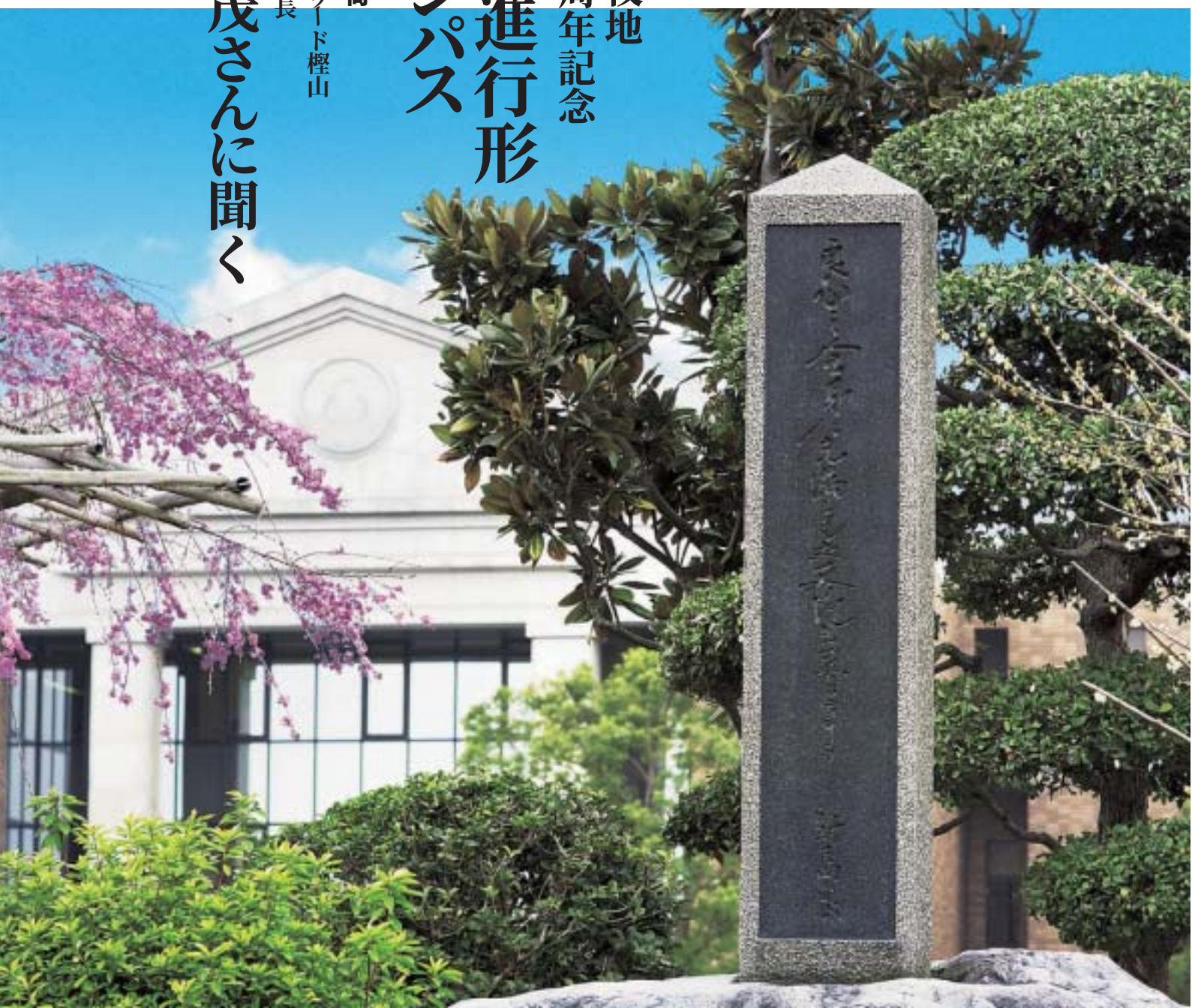
現在進行形
キャンパス

●同志社人訪問

株式会社オンワード樫山
代表取締役社長

上村 茂さんに聞く

●卒業生通信



CONTENTS

2006 APRIL No.146

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。
ささいなことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

大学の活動



特集

京田辺校地開校20周年記念

現在進行形キャンパス

2

同志社の研究は今

真に豊かな社会を生み出す社会的共通資本のあり方を研究する 9
社会的共通資本研究センター

CAMPUS NEWS 11

全日本学生囲碁王座戦に続き、世界学生囲碁王座戦で優勝／ローム記念館プロジェクト こんな欲しか
ってん新ツール発表!／特定寄付奨学金募金協力者ご芳名／同志社小学校がいよいよ開校／ラグビー場
人工芝化募金のお願い“大学日本一奪回を望んで”／学研都市キャンパス構想／京都・宗教系大学院
連合設立記念シンポジウム／同大生のたばこ白書ー同志社大学の喫煙対策への取り組みー／新任教員
紹介／退職教員紹介／卒業生の新刊図書／本学教員の最新刊／TOPICS／Present For You

在学生・教員の活躍

LECTURE 8

スポーツ政策公開トーク第2弾ープロ野球の地域貢献への取り組みー

田尾 安志さん(東北楽天ゴールデンイーグルス前監督)

OP COMMENTARY 17

「極私的大学生活指南」文学部国文学科教授 真銅 正宏

MY PURPOSE 27

公認会計士第二次試験に現役合格ーふとした興味を目標に変えてー

山本 祥子さん(商学部商学科4年次生)

卒業生の活躍



INTERVIEW ~同志社人訪問~ 18

株式会社オンワード樫山

代表取締役社長 上村 茂さんに聞く

卒業生通信 21

・川勝 健司さん(2002年法学部政治学科卒業)

・川中 尚子さん(1998年商学部卒業)

MY JOB, MY LIFE ~シリーズ 私と「仕事」~ 23

・吉田 達也さん(1996年文学部社会学科産業関係学専攻卒業)

・大串 恵子さん(1987年商学部卒業)

ANNOUNCEMENT 25

※記載されている学年は取材時のものです



表紙の情景[良心碑]

京田辺校地の良心碑は正門を入ってすぐ、交隣館西側の緑地にある。今
出川校地の良心碑建立から46年の時を経て、1986年の開校と同時に建て
られた。広大なキャンパスに合わせ、今出川校地より一回り大きく作られてい
る。当時の田辺町長から寄贈されたしだれ桜が、春には彩りを添える。

碑文は「良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起リ来ラン事ヲ」。大学設立募
金運動に奔走していた新島襄が生徒に送った手紙の一節。この言葉に込
められた「一国の良心とも謂う可き人々」(「同志社大学設立の旨意」)を
育成したいという願いは、両校地にももちろん共通だ。

特集

京田辺校地開校20周年記念

現在進行形 キャンパス

1980年8月に造成が始まった京田辺校地。
5年と8ヵ月の工事期間を経て、1986年4月、
1・2年次生8,590人とともに開校を迎えた。あれから20年。
教育・研究・実験棟などが次々に建設された。
1994年の工学部・工学研究科の統合移転や、
2005年の文化情報学部開設を経て、約13,000人の学生が学んでいる。
今回の特集では、キャンパス風景の移り変わりを通して、
その歴史を振り返ってみたい。

3つのリザーブ用地(R1~R3)に注目。現在、R1には光喜館や恵喜館、R3には理化学館、有徳館、香知館などが立ち並ぶ。同志社ローム記念館の建つ正門右手は木が生い茂る丘(2P参照)だった。当時はいっそう広く感じられたことだろう。



光喜館・恵喜館



元は、運動系サークルの練習用地などとして使われていたリザーブ用地 R1。2004年3月にエネルギー変換研究センターが入る光喜館(写真中央奥)、2005年4月には工学部教員の研究室、実験実習室が入る恵喜館(工学部研究室棟・写真右)がそれぞれ竣工した。

ラーネッド記念図書館



「瀟洒な美術館をおもわせる」(同志社大学通信・1986年4月号)と紹介されたラーネッド記念図書館は、開校当時から京田辺校地のシンボリック的存在。美しい芝生は変わらないが、図書館前のクスのノキが大きく育っていることに20年間の歴史を感じる。

飼業館



2003年5月に交隣館が完成するまでは、正門をくぐると左手に飼業館が一望できた。開校当時は事務管理棟。現在は京田辺校地教務事務室の他、学生支援センター、国際センター、キャリアセンターが入る。

T O P I C S

この実、なんの実？

京田辺校地にはときどき珍しい木が植えられていて、感心させられることがあります。ラーネッド記念図書館裏のハナノキも、環境省から絶滅危惧Ⅱ類(危急種)に指定されている貴重なものですが、あまり人目をひくことがないようです。さてこの実、なんの実？ かなりの人はこの実を口にしたことがあるはずです。



答えは、セイウハシバミ(ヘーゼルナッツ)。実を包んでいるものは、葉が変化した苞(ほう)と呼ばれる部分で、果実を保護しています。中の果実の殻を割ると、おなじみのナッツが顔を出すと！ 次策

セイウハシバミの花は、リルケの『ドウイノ悲歌』の最終章にも象徴的に登場しますが、実物はいたって地味で、早春に垂れ下がった雄花と、どこにあるかわからないような雌花を付けます。その頃はまだ葉はなく、花が咲いていても枯れ木同然に見えます。

どこに植えられているか、あなたも探してみませんか、意外に見つけやすい場所にありますよ。

20年前の キャンパス風景

キャンパス
MAP
1986

知真館1号館 (TC1)



開校当初からある教室棟の1つ。京田辺校地で学ぶ学生のほとんどが利用する。小教室の他、現在は111番教室にキリスト教文化センター集会室がある。中庭の樹木は3階上部に届くほど成長したが、ベンチで休憩をしたり、昼寝をしたりする学生の姿は昔も今も変わらない。

こだわりの石垣



正門から南門まで連なる石垣には、良質な花崗岩の産地、広島県尾道沖で採石された岩を使用。横目地の通った層と通らない層を組み合わせた整層乱積という工法で積み上げた。現在は風化のためやや黒っぽく見えるが、開校当時は淡く赤みがかかった美しい色だった。

知真館1号館・2号館外観南東面



南門東側道路から、大教室が入る知真館2号館、右奥に1号館を臨む。建物の外観をほぼすべて見ることができた当時と比べ、写真中央の厚生館保健センターの屋根が、今ではすっかり樹木に隠れてしまっているのがわかる。



絶滅危惧植物 「キンラン」を発見

環境省レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されている「キンラン」が、キャンパスの一角で見つかりました。

キンランは里山に昔から自生している種類ですが、戦後里山に手が入らなくなるにつれて姿を消し、今ではめったにお目にかかれなくなっていました。5月下旬頃、茎の先に濃い黄色の花を数輪咲かせます。

京田辺校地では、これまでにたくさん絶滅危惧種が発見されています。マツバラン、オオ



アカウキクサ（以上全国指定）、コハナヤスリ（近畿地方限定）、コヒロハナヤスリ（京都府指定予定）などです。さらに指定予備軍としてリンドウなども見つかりました。

これらはすべて昔から現在の敷地内にあったものと思われませんが、キャンパス建設に先立って行われた学術調査では記録されていません。数がたいへん少ないのが原因と思われる。

〒学環境システム学助教授 光田重幸

史跡で見る 京田辺地区の歴史

歴史資料館教授

辰巳 和弘



弥生時代後期の集落址

京田辺校地付近には、もともとは住宅地としての造成計画がありました。1966年に工事が始まると、現在の同志社国際高等学校

の裏手に位置する天神山の丘陵上で多くの土器が採集されました。「天神山遺跡」の発見です。同志社大学が新キャンパス建設のため土地を購入したのはその翌年。1968年には、学生たちと発掘調査を行いました。その結果、弥生時代後期(2〜3世紀)、広場を取り囲むように建てられた20戸の竪穴住居址の存在が明らかになりました。木津川の流れや田園地帯を見渡せる高台にあるのは、魏志倭人伝に伝えられる争乱期にあつた集落の特徴だと考えられ、今年3月には京田辺校地で初めてとなる京都府指定文化財(史跡)に指定されました。また、デイヴィス記念館の南側には古墳時代後期の横穴式石室群である「下司古墳群」、校地南側の普賢寺谷に面した丘陵一帯には、15〜16世紀頃の有力農民の居館跡「都谷中世居館群跡」が保存され、考古学



や日本史の教材として活用されています。いくつもの遺跡が保存・活用されている大学のキャンパスは他に例がありません。

筒城宮趾碑

同志社ローム記念館の西側には「継体天皇皇居故趾碑」(1928年建立)と「筒城宮趾碑」(1961年建立)があります。『日本書紀』には、6世紀初めの継体天皇が「筒城に遷都した」とみえます。綴喜郡田辺町多々羅都谷という地名から推測されたもので、学問的な根拠はまだ十分とはいえず、今後の研究課題だといえます。もとは学外にあつたのですが、何度かの移転を経て現在の場所に落ち着きました。

奈良時代の繁栄

京田辺校地のある南山城地区は、奈良時代には交通の要衝として栄えました。地形的に奈良から北へ抜ける唯一のルートが木津川の両



京都府指定文化財に指定された「天神山遺跡」



岸だったからです。平城京を起点に、都と地方を結ぶ道路（官道）が整備され、木津川の東側を通る道は北陸道や東山道へ、西側を通る道は山陽・山陰道へつながっていました。都と地方を往来する使者が馬を乗り継ぐ中継地点を、駅と呼びます。JR三山木駅の西側にある二又交差点付近には「山本駅」がありました。駅は30里（約16km）ごとに設けられましたが、山本駅は都から最初の駅だったとされています。こうして幹線道路が発達すると有力豪族が屋敷を構えるようになり、多くの寺院が建立されました。三山木交差点から南へすぐの佐牙神社内には、「三山木廃寺の碑」が建てられています。西門の近く、大御堂観音寺（普賢寺）には国宝の「十一面観音立像」が安置されています。木津川を越えたJR奈良線の東側、山城町の蟹満寺の本尊「釈迦如来坐像」も国宝に指定されています。

また、南山城は日本で初めて養蚕が行われた地域だと言われています。その根拠となるのが、『古事記』に出てくる「筒木の韓人、名は奴理能美」が蚕を飼っていた、という記述です。京田辺市は1997年に市制が施行されるまで綴喜郡でした。「筒木」が後に「綴喜」という郡名になったと考えられます。6世紀頃にやってきた渡来人がこの地に住みつき、最新の技術と文化を伝えていったのでしょう。このようにして、南山城地区の「文化の回廊」としての役割は、京に都が移る8世紀頃まで続きました。

京田辺校地 INFORMATION

京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ

1993年から始まった「京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」は、京田辺市と本学が協力して、公開講座を通して生涯学習を支援し、心豊かな自己と生き生きとした文化的な地域づくりをめざして実施しています。開講当初は、京田辺市の施設で実施されていましたが、市民からの強い要望もあり、2001年からは、すべての講義を同志社大学京田辺校地で開講しています。講座は5月から12月（8月を除く）までの7回で、内容は社会変化の状況や将来を展望した学習内容が多く、京田辺市民はもとより周辺の市町村、近畿地方各府県の参加者も増加しています。毎年継続して受講希望される方も多く、たいへん好評を得ています。今後も生涯学習の場として、市民ニーズに対応した講座を中心に開講していきます。

■ 2006（平成18）年度 京たなべ・同志社ヒューマンカレッジ

月 日	講 義 テーマ	講 師	備 考
5月13日（土）	ジェンダーと教育 ―大学教育をめぐる―	言語文化教育研究センター所長・教授 松久 玲子	開講式
6月 3日（土）	会計の国際的統合と日本の立場	商学部商学科教授 松本 敏史	
7月 1日（土）	健康促進のために酸化と上手につきあおう	工学部環境システム学科教授 野口 範子	
9月 2日（土）	浮世絵のメディア学 ―生産から消費まで―	文学部美学芸術学科教授 岸 文和	
10月 7日（土）	高齢者と子どもがよりよく生きるためのスポーツと運動 ―ドイツを例にして―	社会学部教育文化学科教授 田附 俊一	
11月11日（土）	スポーツの商業化と法律問題	政策学部政策学科助教授 川井 圭司	
12月 9日（土）	少子高齢化社会における雇用と労働	経済学部経済学科教授 馬場 浩也	閉講式

<申し込み方法> 本学ホームページ (<http://www.doshisha.ac.jp/lifelong/event/hc.html>) をご覧ください。

同志社京田辺祭2006（京田辺市共催）

2005年度に締結された京田辺市との包括協定や、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の採択、同志社創立130周年をきっかけにキャンパスの活性化の一つとして実施されました。今年は、京田辺校地開校20周年を記念して、内容をさらに充実して開催する予定です。

- 日程：2006年11月4日（土）・5日（日）
- 内容：京田辺校地開校20周年記念式典、スポーツフェスティバル、講演会、フリーマーケット、ライブ演奏、パネル展示、地域GP（はいはん知的特区活性化デザインの提案）関係催し、京田辺市主催・共催行事（演奏会、花火）等

注）スポーツフェスティバルは学年暦で休講。京田辺祭2005から祭の一環としての位置づけとしている。

通学指導

近隣住民への迷惑防止や安全な通学の観点から、専用通学路を通行するよう指導します。あわせて、ゴミ・たばこ等のポイ捨て禁止などのマナー指導も行います。同志社大学生として、通学時のマナーを心がけましょう。

- 期間：4月1日～2週間程度（予定）
- 場所：近鉄興戸駅、JR同志社前駅付近を中心とした通学路

再建を待つ 最初の校舎・第二寮

神学部教授 本井 康博



第一寮(右)と第二寮(左)。中間は食堂。

「第二寮」は同志社にとっては「重要文化財」である。自前校舎の第1号であるばかりか、栄えある英学校第1回卒業式(1879年6月12日)はこの1階で挙行された。新島襄は校長式辞の中で(ヘーデー)ホール壁面にあるGo go go in peace. を獅子吼して、世に言う「熊本バンド」の神学生15人をここから世に送り出した。

さらに周知の「自貴の杖」事件(1880年4月13日)の現場でもある。間取りは2階が寮室、1階が教室で、式典や礼拝はふたつの教室をぶ通して使っていた。

由緒あるこの建物はその後、数奇な運命を辿る。これだけ校地を放浪した建造物も珍しい。まずは今出川。ついで、室町のち女子部今出川。最後は京田辺、それも国際高等学校から大学へである。注目したいのは、京田辺でも建築第1号と

なった点である。

さらにこれだけ長く第一線に立ち続けた建物も珍しい。1876年の竣工以来、1971年まで、実に95年にわたって現役として用いられた。

詳しく言うと、1875年11月、同志社英学校は京都御苑東の高松邸を借家して「仮校舎」とした。翌年9月、旧薩摩藩邸跡(現神学館北方)に校舎2棟を新築して、寺町から移転した。このときの自前校舎こそ、第一寮と第二寮である。

その後、クラーク記念館新築(1893年)のために、第二寮は室町(同志社預備校があった)に追いやられ、普通教室となった。一方の第一寮は、いずれの時点か不明であるが、取り壊されている。

その後、預備校は閑古鳥が鳴き始め、一方で女学校は校舎・寄宿舎不足となった。そこで、旧第二寮は1903年に後者へ移され、改修のうえ「新島館」として



女子部に移った第二寮(新島館)

再活用された。1階は普通教室と音楽教室、2階は英文科生寮で、M・F・デントンが管理した。その後も、校舎、あるいは寮(平安寮、ついで大沢寮)として重宝された。

1971年2月、女子中高の校舎新築のために新島館は京田辺に移された。京田辺は、1966年に最初の売買契約を同志社が近鉄と結んで以来、女子大学体育施設を除けば、



京田辺に移った第二寮

未使用のままであった。移転については学内の理解も得られ難かった。

そうした懸念を払拭する意味からも、

1970年に教職員住宅地(同志社

団地)が造成された。翌年の新島館移転は記念建造物としての保存措置であった。だが、無人の校地にぼつねんと佇む姿には、どこか違和感が伴った。

1980年に同志社国際高等学校が京田辺に開校したので、旧第二寮は解体された。資材だけが高校校地の端に野積みされた。しかし、ここも安住の地ではなかった。テニ



再建を待つ第二寮の資材

スコート拡張のため再度、移転を余儀なくされ、現在は1986年によく移転を果たした大学が、硬式野球部グラウンド脇の施設部新倉庫に資材を保管する。

要するに他日の再建待ちである。では、ふさわしい再建場所とは。岩倉移転後の中学校、それも彰栄館増築部分を撤去したあたりが最適か。そうならば、今出川校地のメインストリートは同志社の歴史的遺産が立ち並ぶ「歴史街道」として二層、風格と趣を増すはずである。

真に豊かな社会を生み出す 社会的共通資本の あり方を研究する

社会的共通資本とは、一つの国または特定の地域に住む人々が、豊かな経済生活や文化生活を営み、人間的に魅力ある社会を持続的・安定的に維持する社会の仕組みや自然環境のこと。「社会的共通資本研究センター」は、社会的共通資本のあり方を問い直し、真に豊かな社会を生み出す制度的枠組みや管理・運営形態について研究する拠点をめざす。この分野の世界的権威であるセンター長の宇沢弘文専任フェローにお話を伺った。

最初に社会的共通資本の考え方が私の心の中に芽生えたきっかけとなったエピソードをご紹介します。

シカゴ大学から東京大学へ移った1968年当時のことです。私は水俣病研究の第一人者だった熊本大学医学部助教授の原田正純氏と現地を視察しました。昔水俣は豊かな漁場でした。地元の漁師たちは自分たちでルールを作り、漁場を大切に管理してきました。しかし、昭和の初め頃から、新日本窒素肥料の工場がメチル水銀を含んだ廃液を垂れ流したことで、美しい海は毒々しい色に変わってしまいました。その廃液が水俣病の原因になったわけですが、政府と工場は病状が深刻になるまで、廃液と発病との因果関係を認めませんでした。このプロセスはまさに、戦後日本社会の矛盾を象徴した事件だといえます。社会にとって共通の財産であるべき漁場を、政府や企業が破壊し、その結果、地域の人々が被害を受ける。自然を公共財だとみなすこれまでの経済学ではカバーしきれない事象でした。人々の暮らしにとって大事な自然を、経済学の見地からどう考えればいいのか。これが社会的共通資本について考えるきっかけでした。

社会的共通資本の考え方は、経済学の出発点であるといえます。『国富論』を書いたアダム・スミスは、1723年、イングランドに併合されて間もないスコットランドの貧しい港町に生まれました。併合によって故郷の文化、歴史、自然が破壊された様子を見て育った彼は、グラスゴウ大学を出て17歳で

オクスフォード大学に留学しました。当時オクスフォードはイギリス支配階級のための大学という面が強かったため、スコットランド出身のアダム・スミスは差別され、苦しい生活を味わいます。そして本国に戻り、グラスゴウ大学の教授になりました。当時は経済学という学問はなく、彼は道徳哲学の教授になりました。そして、39歳で『道徳感情論』という書物を出しました。この中で、人間が人間らしく生きる社会はある程度経済的に、物質的に豊かにならなければなら



SCCRディスカッション・ペーパー……研究成果発表前に、関連研究者からコメントをもらうためのもの。論議の叩き台になる。

と書いています。それから17年かけて書いたのが1776年の『国富論』です。1776年は『国富論』の他に、歴史に残る書物が2冊出されています。1冊はトマス・ペインの『コモン・センス』です。ペインは

イギリスの過酷な植民地支配のもとで非常に苦しんでいたアメリカの人々に対して、独立の戦いを始めるべきである、と主張しました。もう1冊はエドワード・ギボンの『ローマ帝国衰亡史』第1巻で、栄華を極めた



宇沢 弘文 専任フェロー
「社会的共通資本研究センター長」

ローマ帝国が、強力な軍隊や土木技術を社会正義に反した形で使ったために崩壊が始まったことを記しました。「自分が書きたかったのはこういう本だ」とアダム・スミスはギボンに手紙を送ったそうです。ところで『国富論』(Wealth of Nations)の「Nation」は、国土と国民を総体としてとらえたもので、決して統治機構としての国家ではないとアダム・スミスは強調しています。このWealth of Nationsから経済学が始まるわけですが、その中心テーマは「人間が人間らしく生きる」ということです。しかし、アダム・スミスの著書は難解だったため、古典派経済学とは何かという論争が起きました。その答えとなる書物が1848年に出されたJ.S.ミルの『経済学原理』です。ミルは「定常状態」(クロ経済的な変数)国民所得や消費や投資、あるいは物価水準が一定の状態の中で人々は華麗な人間的営みを行っている」と主張し、アダム・スミスが求めていた理想像を示しました。

ところがミルの書物に対しては、マクロ経済的な変数は一定だが社会に入ってみると華麗な人間的な営みが行われているというのは矛盾しているのではないかという問題提起がなされました。アメリカの経済学者ノースティン・ウェブレンがこれに答え、「経済学者の仕事はアダム・スミスやミルが理想としていたような社会、つまり人間の尊厳が保たれ、魂の自立が図られ、市民的権利を最大限に享受できるような社会を実現するための制度を考えることだ」としました。このウェブレンの経済的制度を具体化させたものが、社会的共通資本の考え方ということになります。

自然環境、道路や交通機関などの社会的インフラストラクチャー、教育・医療・金融などの社会的共通資本をどうやって管理・維持し、社会正義にかなう形で分配していくかを考えること。これは経済学者の重要な仕事です。

特に自然環境に目を向けると、歴史的にはコモンズと呼ばれる社会組織が安定的持続的に管理していました。

数年前、スリランカの独立記念式典に参加した時のことです。スリランカにはため池灌漑の技術がなく、日本に調査団を送って技術を学びたいという申し出がありました。しかし、日本にはため池がもうほとんどないということをお伝えざるをえませんでした。

スリランカは年に2回のモンスーン以外ほとんど雨の降らない国です。しかし、紀元前から3〜4世紀にかけては、シンハリとい

う世界最高の水利文明を誇っていました。ため池から引いた水で家々の庭には植物が生い茂り、美しい景観だったと言われています。この灌漑技術を、留学先の唐・長安で知ったのが讃岐出身の空海でした。讃岐もスリランカに似て、雨が少ない気候だったようです。できるだけ早く日本に帰ってこれを伝えたいと考えた空海は、通常20年ほどかかる留学を2年で切り上げました。朝廷に願ひ出て別当という役職を得ると、故郷の人々と協力して、満濃池という巨大なため池の大修復工事にあたりました。空海は



2月3日に開催されたワークショップ「京唐紙 唐長の世界」。西村卓経済学部教授の進行で、唐長11代当主・千田堅吉氏をゲスト・スピーカーに迎え、老舗商店が守り伝える伝統技法について理解を深めた。



ない家や田んぼの状態が良くない家は必ず優先させるなどの決まりがあったと伝えられています。

後にスリランカはイギリスやポルトガルの植民地になりました。イギリスは軍隊を送り込み、ため池を次々と壊していききました。それは、ため池を持っている村は自給自足

できるので、植民地支配が及ばなくなることを恐れたためでした。同じことは日本でも行われました。明治政府は江戸時代まで残っていたため池を破壊しました。大きなダムを造って中央集権的に農業用水を供給するように変えていったのです。

コモンズには、森林の入会制度という形態もあります。岩手県に小繋（こつな）という集落があります。明治時代以前は入会制度が保たれ、森林を生活や農業に使いながら持続的に維持して

いましたが、明治以降はそのコモンズが山林原野官民有区分事業によって廃止されてしまいました。入会権をめぐる訴訟で訴えられ、苦しむ小繋の人々を支援するために、全国的な運動が起きました。この「小繋事件」を東京大学で研究された方が、後

に国際コモンズ学会の会長を務めたマール・トーマ・キーンさんです。2003年3月には同志社大学で講演をされました。昨年11月、同志社大学東京オフィスで開催した講座「東京シンポジオン2005 社会的共通資本を求めて」においても、木原啓吉千葉大学名誉教授、室田武経済学部教授に入会制度について講演していただきました。社会的共通資本研究センターでは内外の研究者による専門的な学問研究を発信していくと同時に、人々の生き様、歴史に蓄えられた知恵を見直す試みを展開しています。既成の経済学の枠組みを取り払って、新しい時代への心構えを見いだすことが、私たち社会的共通資本研究センターの重要な役割だと考えています。

社会的共通資本研究センター関連の著書



Campus News

キャンパスニュース

全日本学生囲碁王座戦に続き、 世界学生囲碁王座戦で優勝

2005年12月20～22日に行われた第4回全日本学生囲碁王座戦で江村棋弘さん(法学部法律学科4年次生)が優勝し、学生日本一となった。

江村さんは岩手県盛岡市出身。父・兄も囲碁を打つ囲碁家に育った幼稚園児の頃に囲碁を始め、基会所に通い実力を付けていった江村さん。ところが、中学校に進学する頃にふと嫌気がさしてしまい、しばらくはテニスに夢中になったという。しかし、同志社大学に入学し環境が変わったことで、その情熱を再び取り戻した。囲碁研究会に入部し、学生タイトル獲得を目標にプロの対局を「手ずつ再現する」棋譜並べで実力を磨いた。その結果、2003年に全日本学生囲碁十傑戦準優勝、続いて2004年には全日本学生本因坊決定戦準優勝の成績を修めた。しかし、この成績ではまだ満足できなかった。「学生囲碁界の個人戦3大会のうち、2大会である」と歩のころまで来たわけですから、この王座戦では何としても優勝したかったんです。

決勝戦の相手は、過去に何度も対戦した立命館大学生。大会史上初となる関西勢同士の対局だった。「ライバルとしてお互いの内は知り尽くしていたので私としてはやりやすい相手でした」。入学以来の夢を叶えられたと笑顔で話す江村さん。「ただ、関西リーグ団体戦では同志社大学は毎年のように2位どまり。関西で優勝してチームを全日本大学囲碁選手権に導くことができなかったのは主将として残念でした」とも話した。



2月25・26日には世界9カ国・地域の学生16人が参加する第4回世界学生囲碁王座戦に日本代表の1人として出場した。試合は勝者同士、敗者同士が対戦していく4回戦制。4戦全勝で優勝となる。試合前、「過去3回とも、決勝戦は中国人同士で行われたようです。今回も中国はやはり強敵です」と語っていた江村さんは、25日の初戦で中国代表と対戦、見事に勝利を収めて波に乗り、2回戦で韓国代表、翌26日の3回戦でアメリカ代表を撃破、そして決勝戦では台湾代表を下し、日本勢として初優勝。中国の大会3連覇を阻止した。「学生生活の最終の美を飾ることができて幸せです」。

卒業後は資格試験の勉強をするという江村さん。「ゲーム性と奥の深さが、囲碁の最大の魅力。一度やってみると、面白さが分かると思います。私も、ずっと続けていくつもりです。社会人になっても、楽しみながら頑張って、一般棋戦で活躍できればいいですね」と夢を語ってくれた。

ロム記念館プロジェクト こんな欲しかってん 新ツール発表！

2005年度のロム記念館プロジェクトとして活動した「こんな欲しかってん Part.2」では、今年も便利なツールが開発された。ゼミやプロジェクトなどの記録やメンバーなどの情報を管理する「ゼミtool」、映画や演劇などと関連書籍のデータを管理する「ライブラリtool」と、昨年大好評だった「授業tool」「資料tool」「住所tool」の英語版が新たに登場。プロジェクトメンバーは、2月25日に銀座、2月26日に心斎橋のApple Storeでこれらのツールのプレゼンテーションイベントを実施した。開発されたツールは、同志社ロム記念館ホームページ

<http://rom.drm.doshisha.ac.jp/project/contents/index.html>

から無料でダウンロードできる。

同志社ロム記念館では、毎年さまざまなプロジェクトが活動を行っている。2006年度のプロジェクトもいよいよ始動するので、各プロジェクトでメンバーを募集している。

※プロジェクト説明会は、アナウンスメントP.25参照 (ロム記念館事務室)

Campus News

特定寄付奨学金募金協力者(芳名)

経済的理由で修学を続けることが困難になっている学生を援助するために、2004年4月から「同志社大学特定寄付奨学金募金」を広く社会各界に呼びかけています。

2006年1月末までに、卒業生、ご父母一般の方々および教職員から以下のとおり、協力をいただきました。

【2005年3月～2006年1月の申込者】

	申込件数	申込額
卒業生・ご父母・一般	66件	8,249,860円
教職員	57件	4,528,000円
合 計	123件	12,777,860円

〔芳名(敬称略 順不同)〕

〔卒業生、ご父母一般〕

2,000,000円	吉田育英会
1,000,000円	佐藤 正樹 白水 勝 三機工業株式会社
900,000円	同志社生活協同組合

300,000円 同志社校友会

100,000円 同志社校友会三重県支部

50,000円

金子 博昌
寺岡 吉徳
田島 利男
青山 東洋彦

40,000円

森田 秀夫

34,860円

京田辺同志社OB会

30,000円

河村 忠紀
藤原 東

20,000円

浜村 光久
小口 良喜
川上 裕之
野田 悦生
山本 正宣
魚谷 雅彦

15,000円

セイサグループハイ会
太田 文男

10,000円

山田 晃嗣
天田 喜久
石井 康史
松本 邦博
小田 邦宏
田村 稔
岸本 秀久
越野 泰一
増田 忠夫
中山 昭
川野 修平
坂部 忠良
泉澤 英雄
鈴木 幸義
松井 誠二
三原 誠治

5,000円

山口 敏
村上 知
石井 正明
辻 正彦
田原 靖之
倉原 誠子
石原 晋
中谷 晃也

5,000円

森山 佳子
加茂 明男
今村 浩一
藤原 喜久雄
光田 正雄
堀江 教樹

1,225,000円

(匿名合計) 匿名12人

〔教職員〕

300,000円

三上 保孝

150,000円

上原 勲
工藤 和男

140,000円

橋本 幸

110,000円

亀田 尚己

100,000円

太田 進一
幸亀 一夫
川村 孝爾

90,000円

高田 紀美

70,000円

佐藤 鉄男

60,000円

林 克樹
肥田 美智子
長澤 邦彦
西川 真司
吉川 健

55,000円

植村 巧
山下 利彦

50,000円

加地 伸行

40,000円

高田 芳樹

30,000円

八木 匡
森田 佳世子

20,000円

徐 啓和
今川 晃
久保 真人

15,000円

太田 元

12,000円

北 幸史

10,000円 土屋 隆生

ご芳名のみ(金額非掲載)

白石 健治 二村 宏江 藤井 邦宏
石田 英夫 森 康雄 上田 曜子
洪水 啓次 吉田 謙二 百合野 正博
押本 年真

1,846,000円(匿名合計) 匿名20人

※教職員については2008年度までの申込を受け付けています
が今回は2005年度寄付額(2005年4月～2006年3月)のみの金額を掲載しています。

当募金は継続的に行っていますので引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先：財務部経理課

TEL: 075-251-3144

E-mail: ji-keiri@mail.doshisha.ac.jp

同志社小学校がいよいよ開校

同志社小学校の第二期生となる、新1年生90人と2・3年生各60人の入学選考が終わり、岩倉校地に建設していた校舎も1月25日に完成した。校歌は、童謡「サッちゃん」「いぬのおまわりさん」などで有名な大中恩氏の作曲、作詞は、現代を代表する詩人の谷川俊太郎氏。

小学校の開校により、創立者新島襄が求めたキリスト教主義を徳育の基本とする幼稚園から大学院に至る教育体制が完成する。同志社の基本理念に基づいた「貫教育」を通して、自治自立の同志社精神を継承した人物を育成していく。入学式は4月10日。



“ラグビー場人工芝化募金のお願い
大学日本一奪回を望んで”



同志社大学では体育施設整備の環としてラグビー場人工芝化のための募金事業を昨年10月から行っています。ラグビー場の人工芝化募金は時代の要請する水準の整備の観点から、内外からの声援を糧にその早期実現に向けて、広く各界にご協力を呼びかけているものです。

体育会ラグビー部は2010(平成22)年に創部100周年を迎えます。念願の「大学日本」が1年でも早く実現できるよう、部員一同、毎日練習に励んでおります。つきましては、諸事ご多端の折まことに恐縮に存じますが、この募金事業に対しましてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、ラグビー部創部100周年記念行

事として、記念式典や記念試合の開催をラグビー部と共催する予定です。

募金事業の概要

- (1) 募集金額 5,000万円
- (2) 募集期間 2007年3月31日まで
- (3) 申込金額 個人：一口2万円
(一口未満の金額もありがたくお受けいたします)

法人：任意

※寄付金は減免税措置(税法上の優遇措置)を受けることができます。

お問い合わせ先…学生支援センター
スポーツ支援課

TEL: 0774-657417

FAX: 0774-657416

Email: js-sport@mail.doshisha.ac.jp

※お申し出いただければ「募金事業寄付申込書」をお送りいたします。

学研都市キャンパス構想

学研都市キャンパス構想

2005年12月、本学は、相楽郡木津町木津川台のキャンソノエロジイ研究所跡地を購入し(敷地面積約5万㎡、建物面積約8,500㎡)新たに「同志社大学 学研都市キャンパス」と命名して、医工連携を含む新たな理工系研究施設として活用することにしました。

創立者新島襄は、医学医療の分野で世に役立つ人材を輩出したいとの思いを強く抱

いて京都看病婦学校と同志社病院を1887(明治20)年に開業したが、1906(明治39)年に廃校となつて以来、現在までその遺志は達成されないうままである。

本学は、2003年に締結した京都府立医科大学との学術交流に関する包括協定を土台に、寄付教育研究プロジェクト「バイオマーカー研究センター」「再生医療研究センター」「アンチエイジングリサーチセンター」、文部科学省学術フロンティア推進事業選定の「医工学研究センター」のほか、「感情・ストレス・健康研究センター」「こころの生涯発達研究センター」などを立ち上げ、生命科学・医学分野への関わりを深めてきた。さらに、教育面では、医療工学的な側面から人間環境を考える人間環境科学、運動機能・生理学など、医学や医療に関したカリキュラムを工学部環境システム学科の生命環境分野に設置した。さらに、医療と関わりをもつこれらの研究・教育事業を行うには、医療機関との密接な協力関係が必要であり、医療法人社団医聖会の学研都市病院(2006年4月に開院予定)とも「交流に関する協定」を締結。学研都市病院は本キャンパスに隣接していることもあって、共同研究や臨床実習などの相互協力が期待できる。

学研都市キャンパスは、京都府、関西文化学術研究都市推進機構との密接な研究連携や、近隣医療法人との共同研究、地域住民との交流をはかるなかで、民・官・住が一体となった新たな学術フロンティアを開拓していく拠点となるであろう。



京都・宗教系大学院連合 設立記念シンポジウム

1月7日「京都宗教系大学院連合の設立記念シンポジウム」が、寒梅館ハーディーホールで開催された。

同連合は、大谷、高野山、種智院、花園、佛教龍谷、同志社大学が加盟し、単位互換を中心とする教育面での協力関係を深めつつ、同時に共同研究を通して、国際社会に対し、宗教研究の拠点としての京都を



アピールすることをめざしている。

シンポジウムでは、評論家の加藤周二氏が「異なる宗教間の対話」と題して基調講演を行い、世界平和など一般的なテーマで異なる宗教が「致できるのは当然で、問題はより現実的な事柄で、互いに価値観の違いをいかに乗り越えることができるのか」が課題であると指摘。つづくパネルディスカッションでは、パネリストの門脇健太、大谷大学教授、頼富本宏、種智院大学長、森孝二、神学部教授がそれぞれ発表をした後、加藤氏を交えて平和問題、若者の無関心、宗教の域など多様なテーマを巡る議論が活発に行われた。

当日は雪が降る悪天候であったにもかかわらず、2000人を超える来場者を迎え、一般市民の関心の高さを窺うことができた。

同大生のたばこ白書 同志社大学の喫煙対策への取り組み

喫煙がもたらす健康被害を防ぐため、近年世界的に禁煙推進運動が展開されている。わが国でも2003年に「健康増進法」が施行され、受動喫煙防止が法律に定められた。2004年には「WHOたばこ規制枠組み条約」を批准し、値上げや警告表示の強化など規制がさらに進んでいる。次世代を担う若者を預かる大学にとって、喫煙対策は重要な課題である。

本学では、2000年に①館内原則禁煙②歩きたばこ禁止、たばこのポイ捨て禁止を施行したのをはじめに、2004年に大学全面禁煙の段階的推進、2005年春には屋内の共有部分・屋外の指定場所以外での禁煙を決定した。また、指定場所を建物の出入口を避けて配置し、灰皿の減少や学内たばこ自販機の完全撤去等々の環境も整いつつある。「健康相談週間」では禁煙相談・禁煙講演会・禁煙教室も開催している。さらに、全国大学禁煙化プロジェクトに参加・登録し、禁煙キャンペーンとともにニコチン代替療法による禁煙支援も行っている。

本学の喫煙実態調査は、従来2年次生のみを対象としたが、2005年度は全学生を対象に実施した。その結果、喫煙率は全学生では男子21.9%、女子4.2%であったが、1年次生(男子8.3%、女子1.4%)、2年次生(男子18.3%、女子2.3%)、3年次生(男子

29.3%、女子5.4%)、4年次生(男子31.0%、女子7.0%)、再修生(男子44.3%、女子12.9%)と学年とともに上昇し、特に1・2・3年次生の間には大きな差が見られ、大学院生では比較的低かった男子24.5%、女子6.9%(図1)。なお過去と比較すると、2年次生の喫煙率はこの15年間で半減していた。喫煙開始年齢を4年次生で見ると、20歳・18歳・19歳の順に多く(図2)、入学時の喫煙率は非常に低いにも拘らずその後の2年間に喫煙を開始する学生が多かった。一方禁煙・本数減希望の学生は60%以上であった(図3)。

学生時代の喫煙開始を回避すれば、生涯喫煙習慣なしに過ごせるといわれる。このたびの調査で、本学では入学後に喫煙者が急増していることになる。これに対して①大学全面禁煙に向けた禁煙環境の整備②喫煙習慣を身に付けさせないための防煙・禁煙教育を入学直後から実施③喫煙者への積極的な禁煙支援・喫煙マナーアップの啓蒙など総合的対策を講じることが今後の課題である。

社会的にも「たばこ規制」が注目されている現在、全学的喫煙対策は学生・教職員の健康増進に大きく寄与する緊急課題であり、全学生・教職員の理解と協力が不可欠である。

(厚生館保健センター)

図1 学年別喫煙率

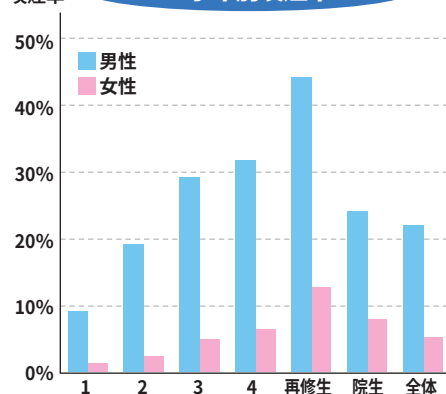


図2 4年次生喫煙開始年齢

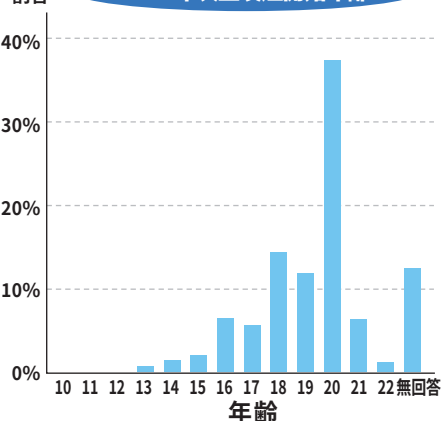
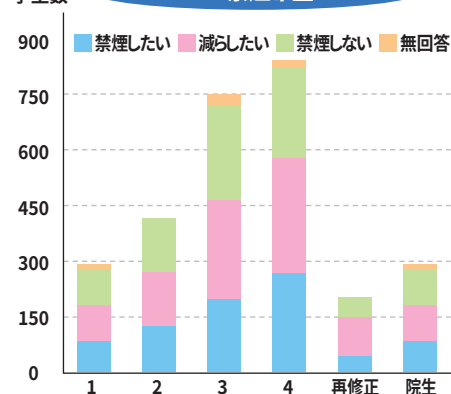


図3 禁煙希望



■新任教員紹介

このたび新たに24人の先生方をお迎えしました。① 所属(学科) ② 職名 ③ 主な担当科目



Philip J. CUNNINGHAM
(ふいっつぶ J・かにながむ)
① 社会(メアア)
② 教授
③ 国際コミュニケーション論



木原 活信
(きはら かつのぶ)
① 社会(社会福祉)
② 助教授
③ 社会福祉の歴史と思想



西脇 常記
(にしわき つねき)
① 文(文化史)
② 教授
③ 東洋文化史概説



田中 貴子
(たなか たかこ)
① 文(英文)
② 専任講師
③ 英語教育特論



手島 勲矢
(てしま いさや)
① 神(神)
② 教授
③ エタヤ学



西村 篤
(にしむら あつし)
① 神(神)
② 助手
③ 実践神学



下原 勝憲
(しもはら かつのり)
① 工(情報システムデザイン)
② 教授
③ 企業活動と情報



片桐 滋
(かたぎり しげお)
① 工(情報システムデザイン)
② 教授
③ 情報システムの計画と設計



狩野 博幸
(かの ひろゆき)
① 文化情報(文化情報)
② 教授
③ 文化解析II



波多野 賢治
(はたの けんじ)
① 文化情報(文化情報)
② 専任講師
③ データベースシステム



菅 一城
(すが いっき)
① 経済(経済)
② 助教授
③ ヨーロッパ経済



新井 京
(あらい きょう)
① 法(法律)
② 助教授
③ 国際組織法



山口 希
(やまぐち のぞみ)
① 工(環境システム)
② 教授
③ スポーツ循環器学



増田 富士雄
(ますた ふじを)
① 工(環境システム)
② 教授
③ 自然環境特論



塩井 章久
(しおい あきひさ)
① 工(物質化学)
② 助教授
③ エネルギー工学



積際 徹
(つむぎわ とおる)
① 工(機械システム)
② 助手
③ 知能機械学・機械システム



田中 達也
(たなか たつや)
① 工(機械システム)
② 教授
③ 材料力学I 演習



鈴木 智也
(すずき ともや)
① 工(情報システムデザイン)
② 講師
③ プログラミングIII



村上 敏一
(むらかみ けいいち)
① 司法(法務)
② 特別客員教授
③ 模擬裁判



物部 ひろみ
(ものべ ひろみ)
① 言語文化教育研究センター
② 専任講師
③ 英語



三ツ井 崇
(みつい たかし)
① 言語文化教育研究センター
② 専任講師
③ ハングル



郭 雲輝
(かく うんき)
① 言語文化教育研究センター
② 助教授
③ 中国語



長谷部 陽一郎
(はせべ よういちろう)
① 言語文化教育研究センター
② 専任講師
③ 英語



阿部 範之
(あべ のりゆき)
① 言語文化教育研究センター
② 専任講師
③ 中国語

退職教員紹介

●2006年3月31日付で
次の先生方が退職されました。

橋本 滋男	神学部教授
野本 真也	神学部教授
大城 善盛	社会学部教授
安藤 仁介	法学部教授
麻田 貞雄	法学部教授
浅沼 潤三郎	法学部教授
山中 俊夫	法学部教授
小森 瞭一	経済学部教授
森 一夫	経済学部教授
玉村 和彦	商学部教授
二村 重博	商学部教授
川北 英隆	政策学部教授
松尾 幸季	工学部助教授
中井 晨	言語文化教育
松田 正文	理工学研究所教授
森 糸子	理工学研究所教授

卒業生の新刊図書

『増補新版「京都議定書 再考」』
温暖化問題を上場させた
市場主義 条約』
江澤 誠さん(1973年法学部政治学科卒業)
新評論 ￥2900(税別)

『数寄の革命 利休と織部の死』
第5回紫式部市民文化賞受賞作
児島 孝さん(1958年経済学部卒業)
思文閣出版 ￥2100(税込)

『異文化交流のはざま』
内田淑子のルーツと生涯』
竹中 正夫さん(同志社大学名誉教授)
思文閣出版 ￥1900(税別)

『神種』
渡辺 仙州さん(2000年工学研究科修士)
ソフトバンク クリエイティブ
GA文庫 ￥620(税別)

本学教員執筆図書の紹介 (総合情報センター調べ)

すらすら読める論語

加地伸行 著
講談社 1600円

刑事法入門 第5版

大谷實 著
有斐閣 2100円

司法精神医学 VOL.3

瀬川晃 他 執筆
中山書店 10000円

環境再生

室田武著
東洋経済新報社 2200円

アメリカの対外関与

村田晃嗣 他 執筆
有斐閣 3700円

国家を超えられなかった教会

原 誠 著
日本キリスト教団出版局 6400円

ヨハネス・イッテン

造形芸術への道論文集
清水稔 他 執筆
宇都宮美術館 非売品

科学技術の行方

石黒武彦 著
萌書房 2100円

日本文章表現史

藤井俊宏 他 執筆
和泉書院 3000円

絵図に見る東海道中膝栗毛

佐伯順子 他 執筆
河出書房新社 2200円

新編 泉鏡花集 別巻1

田中助儀 編 他 執筆
岩波書店 6400円

新編 泉鏡花集 別巻2

田中助儀 編 他 執筆
岩波書店 6400円

論集 泉鏡花 第四集

田中助儀 他 執筆
和泉書院 6000円

大学の管理運営改革

山田礼子 他 執筆
東信堂 3600円

法哲学

上田健一 訳
ミネルヴァ書房 8000円

インベーション破壊と共鳴

山口栄一 著
NTT出版 2600円

TOPICS

体育会サッカー部田中淳也さんが
ジェフユナイテッド市原・千葉に
入団決定！



大学在学中にJリーグの試合に出
場することができる「特別強化指定
選手」に認定されプロの公式戦であ
るナビスコ杯(VS浦和戦)に途中出場
を果たし活躍したことで注目されて
いた田中淳也さん(文学部社会科学
社会学専攻4年次生)が、Jリーグ
のジェフユナイテッド市原・千葉に入団
が決まった。「高さと対」の強さをア
ピールしてチャンスをつかみたい」と厳
しいレギュラー争いの中、早期レギュラー
獲得に向けて意気込みをみせた。

(1月18日入団内定記者会見)

Present for you



ヤクルトスワローズ 宮本慎也さんのサイン色紙をさしあげます。

昨年12月に、第6代の選手会会長に就任した宮本慎也さん(1994年商学部卒業)。球界変革期にあ
って、「選手全員で東になっていい球界にしたい」「叩かれるのは覚悟の上」と損得抜き強い決意を
表明しました。また、野球の国別対抗戦「ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)」では、初代世界一
に輝いた王ジャパンのメンバーとして多大な貢献と活躍をされました。色紙ご希望の方は、ハガキもしくはE-mailで、住所・氏名・学部(卒業生の方は出身学部・卒業年)・「One Purposeの感想」をご記入の
うえ、2006年5月31日(消印有効)までに広報課にご応募ください。抽選のうえ、2人の方にプレゼントします。
当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。※広報課の連絡先は裏表紙に記載。
※収集した個人情報は、色紙送付ならびにアンケート内容の分析のみに使用します。

145号のおわびと訂正

ワンパーパス145号の記事誤りがありました。P.10「新島裏の旅した風景 南九州編」左下写真キャプション
【誤】森有礼誕生地の碑(宮崎市) 【正】森有礼誕生地の碑(鹿児島市)

極私的 大学生生活指南

例えばTVで「名探偵コナン」を見ている時、コナン少年は毎週というほど殺人事件に遭遇し、おどろおどろしい死体をしゅちゅう目にしているのに、よくまあ精神的にまいってしまわないなあ、などと考えるのは余計なお世話ですよ。『水戸黄門』なども、かなりの長寿番組で、一行は全国をもう何周も廻ったものと思われませんが、なぜ未だ日本国中から悪い国家老や悪代官、奸佞^{かんねい}なる大商人がなくなるしないのだろう、などとは考えませんね。

我われは現実の感覚とは別の常識に立ってドラマを見えています。小説も同じです。実在しないお化けが出てきても、ちゃんと読むことができます。この小説は非現実的だ、などとはあまり言いません。そのようなことを言い出すと、日常生活を円滑に送ることはできません。見て見ぬふりをしているわけです。

しかし、いったんこれに気づくと、日常生活がいかに虚偽に満ちたものであるかがわかってきます。それもまた楽しい。私

は大学を、普段聞いかけてもしない社会の暗黙の了解事項や日常生活について、いったん自分から引き離し、全く別の角度から眺めてみる場所だとイメージしています。いずれ社会に出れば我われは退屈な日常生活にどっぷりとつかってしまおうが、その前に、大学は、さまざまな「脱日常」を体験することによって、自分という人間が日々の生活に埋没してしまわないような方法を手に入れる場所なのです。

私自身は大学生から大学院生、そして大学の教員と、大学という世界から全く出ずに今日に至りました。このまま毎年同じようなことを繰り返すだけで歳をとってしまふのでは、という恐怖感を克服すべく、同志社にやってくるから、DS Cという教職員野球チームに入りました。地元ではテニスクラブにも入っています。歳をとればとるほど、新しい何かを始めるのがおつくうになります。だから意地になって、常に何か新しいことを始めたいと思っています。私を元気にしてくれる

のは、このような私を受け入れてくれる廻りの「人」たちです。最近ではロクバンドを結成してヴォーカルを担当しています。同志社の学園祭である同志社EVEにも2年連続で出演してしまいました。研究室では時々、地歌三味線も弾いています。

こう書けば、大学教員というのはいかにも暇な職業のように思えるかも知れませんが、そうでもないんです。教育も研究も結構忙しい。

ところで、これだけインターネットが発展し、情報が得やすい時代になっても



やはり何か一つのことについて調べる際に最も信頼できるのは、その道の専門家です。とにかく人が情報を二番たくさん持っています。

同志社という名前こそは、このような人間関係の大切さを、最も端的に表したものだと言えます。人は人との関係の中

でどんどん変化していく可能性を秘めた存在であり、それを実現する場がここにはあります。どうぞここで、自他にわたるいい人作りをしてください。私もまだまだ負けないようにがんばりますので

Masahiro Shindo

真銅 正宏

文学部国文学科教授

1962年、大阪府生まれ。日本近現代文学専攻。著書に、『永井荷風・音楽の流れる空間』（世界思想社）、『ベストセラーのゆくえ』（翰林書房）、『言語都市・パリ』（藤原書店、共著）、『小林天眠と関西文壇の形成』（和泉書院）など。



上村 茂さん に聞く

インタビュー 和田奈保子さん

文学部社会学科社会学専攻3年次生

和田●上村さんは、どのような学生生活を過ごされたのですか。

上村●フランス語研究会というサークルに入り、4年間活動しました。あとは史跡に興味がありましたね。京都の寺社仏閣はほとんど見学しました。

和田●当時はどのようなファッションが流行していたのですか。

上村●高校時代、VANというブランドが一世を風靡しました。その後の大学時代なので、既製服がブームになった頃でした。私も洋服は好きでした。カジュアルなシャツにデニムパンツを合わせ、セーターを着たりトレンチコートを羽織ったり。今の学生さんとあまり変わりません。ただ、今の学生さんほど枚数は持っていなかったと思います。

和田●オンワード樫山(旧・樫山株式会社)に入社後、婦人服部門を志望されたと伺っていますが、これはどうしてだったのですか。

上村●当時の主力商品は紳士服でした。新入社員は皆、そちらを志望していました。が、売り場に立たなければならなかった。私

はそれがイヤだったのです(笑)。幼い頃、自宅で婦人服の仕事をしている母の姿を見慣れていたので、抵抗がなかったという理由もありました。

和田●大学時代の経験が、お仕事に役立ったことはありましたか。

上村●フランス語を学んだおかげで、パリなどへの出張の際に助かったという経験はあります。フランスからのお客様に国内をガイドすることもありました。

ただ、アパレルという業種は、参入障壁が低く、二人でブランドを立ち上げて洋服を売ることもできる。工場にしても技術者にしても、自分のところにないのであればアウ



上村 茂さん

【1976年文学部社会学科新聞学専攻卒業】

1954年福岡県生まれ。1976年樫山株式会社(現・オンワード樫山)に入社。マーチャンダイザーとして「組曲」「23区」などを同社のトップブランドに育て上げた。2005年、最年少の末席常務から7人抜きて代表取締役社長に就任した。

株式会社オンワード 樺山代表取締役社長

上村 茂さんに聞く



トソーシングできるのです。だから、学問が直接役に立つというよりは、デザインから店頭で並ぶまでに多くの人の手を渡っていく、コミュニケーションビジネスだと考えてもらうと思います。

和田●多くの人が携わる中、上村さんは企画畑を歩んでこられたわけですね

上村●ええ、入社3年目からそうでした。

和田●印象深いお仕事はありますか。

上村●25歳の時、初めての海外視察でロサンゼルスからニューヨーク、ミラノ、そしてパリへと渡りました。そのパリでジャンポール・ゴルチエのデビューショーに裏方として参加したのです。いわゆるパリの現場を目にして、「ああ、世界のファッションはこうして回ってるんだ」と感激した覚えがあります。当社では、年間延べ200人ほどを海外視察に送り出しています。

和田●自分の目で見て確認することが大事だということでしょうか。

上村●そうですね。欧米に比べると日本の既製服の歴史はまだまだ浅い。だから、現場に触れることはやはり刺激になりますね。

和田●視察とは、具体的にどのようなお仕事なのですか。

上村●百貨店や専門店の売り場を視察したり、私たちが契約しているデザイナーのショールームで、次シーズンの打ち合わせをしたりします。商品を日本に持ち帰って研究の題材にすることもあります。今はインターネットで情報を得ることができますが、現場の雰囲気そのものも大切です。

和田●私は企画という仕事に興味を持っているのですが、現場で見聞きたことからのようにして企画へと発展させていくのですか。

上村●全く新しいブランドの立ち上げだとすると、まず、百貨店向けかファッションビル向けかといった流通チャネルを決め、年齢や職業などのターゲットを絞って、価格帯を設定することから始まります。例えば、私が1991年に手掛けた「組曲」というブランドがあります。その頃はヤングレディース向け商品が当社は手薄でした。そこでマーケティングを行い、当時人気だった2つのブランドの商品を大量にサンプリング。その1つが「アニエスB」でした。今後の流行予測を踏まえて検討を重ねた結果、私たちはアニエスBの日本版を作ろうと考えました。当時のヤングブランドはワンサイズ展開が多かったため、サイズを豊富にそろえることで差別化を図ることとし、商品テイストやショップ環境、広告戦略のイメージキャラクターを誰にするかということまで決め込みます。

和田●なるほど。

上村●その後、デザイナーがデザイン制作を開始します。私たちは商社などから生地を買い付けて商品サンプルを作り、展示会を開いて百貨店と出店交渉を行っています。このような形で、新ブランドはスタートします。

和田●企画から商品の完成まではどのくらいの時間がかかるのですか。

上村●「組曲」は1991年7月から始

まわって翌年8月にデビューさせました。13カ月ですね。その1年後に手掛けた「23区」は、「組曲」で得たノウハウを活用したので少し短くて8カ月ぐらいでした。他にも数多くのブランド開発に関わりましたが、もちろん失敗もたくさんありましたよ。現在も残っているものが、成功したブランドということですよ。

和田●社長に就任されてからはいかがですか。

上村●そうですね。アイデアは出しますが、今は人と会い、社内のさまざまな会議に出席することに時間を費やしています。しかし、少なくとも週に1度は、百貨店に足を運んで売り場を見に行くようにして

ツクできるのです。

和田●これまでに成功も失敗も経験されてきた中で、仕事が辛いと思ったことはありませんか。

上村●私はよく、新入社員にこんな話をします。人生は選択であり、うちの会社に入ったこともその一つ。すなわち、会社で働



くことも人生の一部なのだから辛いことがあってもそれは神があなたに与えた試練だ。「公」だとか「私」だとか思うから仕事に辛くなるわけで、全てを「私」だと思いなさい、と。

だから私は休日でも売り場を歩いたり、街を歩いたりして過ごすことがほとんどです。頭の中は仕事のことで一杯公私を区別してしまうと、辛いことを受け入れられなくなってしまう。

和田●やはり仕事が大好きなのですね。

上村●好きにならないと面白くないですよ。実際、休みなく働くのは疲れます。でも次々にやるべきことをやってきたら、こ

今まで来たという感覚ですね。自己実現の方法はいろいろありますから、生活の糧を得るために割り切ってサラリーマンを続けることも間違いではないとは思いますが、私の場合、仕事の他に没頭できる趣味もありませんから。

和田●今後の目標をお聞かせください。

上村●当社は国内の売り上げ比率が9割で、海外はわずかに1割。これを2008年までに2割まで高めたいと考えています。アジアだけでなく、欧米でのブランド展開も積極化させていきます。少子化のために国内マーケットが縮小していくことが予想されますから、先手を打っていくつもりです。

和田●最後に、学生にメッセージをお願いします。

上村●4年間はあつという間に過ぎていきます。私もそう感じました。だから、自分が「これだ」と思うことを好きになだけ、思い切りやったらいいと思います。そして勉強も大事ですが、アルバイトでも旅行でも、人や社会に触れる機会をたくさん作ってほしいです。同志社の学生なら「一般常識は心得ているはずですからそれをベースにしたうえで話ですが、ここ数年の不景気もようやく終わりそうです。就職環境も今後、良くなることでしょう。

和田●今日はお忙しい中、ありがとうございました。

苦労をいとわず、仕事を楽しむ姿勢に感銘を受けました。

企業の社長にインタビューするのは初めてで、緊張しましたが、話したすと気さくな方だったので、ほっと安心しました。それに、とてもお洒落で素敵なお方でした。上村さんは学生時代、夏期休暇中に短期アルバイトをしては一人旅に出ることを繰り返していたそうで、アパレル業界というコミュニケーションビジネスの世界で成功されるための基礎を身に付けられたのだと思います。

上村さんのお話の中で特に印象深かったのは、「公私を区別しない」という考えです。昨今は仕事とプライベートを分けることを歓迎する人が多いような気がします。しかし上村さんは逆に、目標に向かうための力にかえておられます。私も両者を区別できないタイプです。上村さんに勇気づけられた気がしました。

INTERVIEWER



和田奈保子さん

文学部社会学科
社会学専攻3年次生

社会心理学のゼミで「人と人のつながり」について学ぶ。広告研究会では代表を務め、学生向けフリーペーパー「YUMMY!」の編集・執筆を担当。将来は、編集者や商品開発など、企画力を活かした職業に就きたいと語る。

寄稿

国際協力の現場から

～日本のNGOによるイラク復興支援～

私が国際協力に興味を抱いたきっかけは、少期の途上国での生活経験にある。9歳まで過ごしたメキシコとブラジルで深刻な貧富の格差を目の当たりにし、私は子どもながらに戸惑い違和感を覚えた。そして中学に入った頃から、貧困や災害により支援を必要とする人々に関わる仕事をしたいと漠然と考え始めた。

その後、大学院在学中に訪れた旧ユーゴスラビアのコソボ自治州での出来事が、私に紛争や災害の現場で仕事をする決心をさせた。当時私は国際移住機関 (International Organization for Migration: IOM) ヘルプ事務所でインターンをしてながら調査をしていた。ある日、コソボ北部

の町での調査を終えて仲の良い運転手の待つ車に戻ると、「近くに俺の実家があって戦争で燃やされて以来帰ってないのだけれど、一緒にその家を見に行ってくれないか」と頼まれた。そして二人で家の近くまで行き、しばらくの間、黒焦げになつた運転手の実家を見つめていた。燃やされて変わり果てた家を見つめる彼の表情を見た時、私は国際協力を一生の仕事にしようと思った。

大学院修了後、開発コンサルティング・ファームでの勤務を経て現場で仕事をしたいという思いから、2005年6月に特定非営利活動法人ジェン (JEN) に転職した。JENは1994年のユーゴスラビア難民・国内避難民



バグダード市内の修復された学校で

支援以来、「心のケアと自立の支援」という立ち上げを掲げ、これまでに世界14カ国で、延べ100万人以上に対する緊急・復興支援活動を行ってきた国際協力NGOである。私は、3カ月間の本部事務局勤務を経て、アンマン事務所長としてイラクでの学校修復事業に携わることになった。

かつて中東と言われたイラクの教育システムも、湾岸戦争やその後の13年間にわたる経済制裁の影響を受け、小・中学校の殆どの設備が老朽化したまま放置されていた。それに加え、2003年3月のイラク戦争開始以来、多くの学校が空爆や略奪の被害に遭い、更に教育環境が悪化している。また、水道設備やトイレが

故障したまま、安全な水や下水処理が十分な学校が多く、校内の衛生状態も劣悪な状態である。

このような状況から、JENは2003年9月からインフラ整備のための下水設備修復に加え、バグダード市内の小・中学校修復事業を実施している。JENはこれまでにバグダード市内の40校の小・中学校を修復し、約25000人の子どもたちがより安全な衛生的な環境のもとで教育を受けるための支援をしてきた。現在は、学校設備の修復にとどまらず、掃除用具や国連児童基金 (ユニセフ) と共同で作成した子ども向け衛生教育パンフレット、ボスニアの配布等を通じて修復された学校の衛生状態が持続的に維持されるための取り組みを進めている。

私の主な仕事内容は、イラクの隣国エルダシからバグダード事務所の現地スタッフをサポートし、学校修復事業の実施・管理を行うことである。具体的には、パートナーであるユニセフや他の国際機関との交渉、イラクで活動する他の国際NGOとの情報交換や調整、アンマン・バグダード両事務所とのセキュリティ・人事・労務・会計の管理等多岐にわたる。予算規模も大きく、治安が悪化する途をたどるイラクでの事業に携わることで、赴任当初は大きなプレッシャーに悩むこともあったが、その分やり甲斐も成長の機会もあり、現在は忙しくも充実した日々を送っている。

私がこの仕事をする上で大切にしている事は、「人道支援に携わるプロフェッショナル」という意識を常に持つことである。日本では国際協力NGOの活動に関する認知度がまだ高いとは言えず、「ボランティア」として捉えている人

も少なくない。しかし、災害や紛争で支援を必要とする人々に迅速かつ適切な形で質の高い事業を実施する役割を担うNGOは、政府機関や国際機関のパートナーであり、支援の面でなくてはならない。したがって一人でも多くの人にJENの活動がプロフェッショナルなものとして認識され支援されるように、これからも日々の仕事の中で意識を高くもってイラク復興支援に取り組んでいきたい。

■特定非営利活動法人ジェン (JEN) について
平和な国際社会作りをめざし、世界各地で紛争や自然災害などにより厳しい状況にある人々へ「心のケアと自立の支援」をモットーに、きめ細やかな支援活動を行う国際協力NGO (本部事務局：東京都新宿区。2006年2月現在、アフガニスタン、イラク、エリトリア、スーダン、パキスタン、新潟で支援活動を実施中)。
URL: <http://www.jen-npo.org>

JENアンマン事務所
川勝 健司さん
【2002年法学部政治学科卒業】

特定非営利活動法人ジェン (JEN) アンマン事務所長。2002年法学部政治学科卒業後 (鷺江ゼミ・西澤ゼミ)、英国ヨーク大学大学院戦後復興開発ユニットで緊急人道援助・戦後復興に関する研究を行う。その後、国連機関でのインターンシップ、開発コンサルティング・ファーム勤務を経て2005年6月から現職。



京都市山科区のダンススタジオ。大きな鏡で動きをチェックしながら、一人黙々と練習に励む、川中尚子さん。チアリーダー歴12年を数えるベテランだ。

川中さんは、大学入学と同時に同志社大学応援チアリーダー部「チアリーディングエンジェルス」に入部。本格的なダンス経験はさほどなかったが、練習を見学して「私のやりたいことはこれだ」と



ね。2002年からチアリーディング団体「USA Japan」オールスターチアリーダーに所

属。平日は大阪で勤務し、週末は東京に通うという暮らしが3年続いたが、FPとして仕事をするための資格を取得するなど、チアリーダー活動と仕事を両立させていった。その頃、川中さんにはチアリーダーの本場アメリカで活躍したいという夢が芽生えていた。きっかけは、現地でNBAの試合を観戦したことだった。ダンサーと観客が一体となって会場全体の雰囲気盛り上げる。「私もこの場に立つてみたいと、強く感じました。」

国内で複数のチームを掛け持ちしながら、技に磨きかけた。そして2004年、アメリカNBA、サクラメント・キングスのオーディションに挑んだ。最終選考まで進んだものの、残念ながら結果は不合格。しかし翌2005年、再挑戦した川中さんは見事合格を果たした。NBAのチアダンサーに合格した日本人は、川中さんで3人目。現地の新聞でも大きく報じられた。まさに快挙だった。

NBAチアダンサーに合格

〜本場アメリカでの活動をめざす〜

ひらめいたのだという。「本当はビラミッドの一番上に乗りたいのですが、身体が大きい方だったので断念し(笑)、その他の事ダンスの切れやジャンプの高さと豊かな表情でアピールしました」と振り返る。チームは全日本チアリーディング選手権大会決勝まで進出した。

卒業後は三和銀行(現 三菱東京UFJ銀行)に就職。同時に、社会人アメリカンフットボールリーグ、Xリーグ「サンスターファイニーズ」(現 神戸ファイニーズ)チアリーダーに所属した。銀行に就職したのは「土・日曜にチアの活動ができること、そして営業職を志望していたことが理由です。欲張りなんです

属。平日は大阪で勤務し、週末は東京に通うという暮らしが3年続いたが、FPとして

仕事をするための資格を取得するなど、チアリーダー活動と仕事を両立させていった。

その頃、川中さんにはチアリーダーの本場アメリカで活躍したいという夢が芽生えていた。きっかけは、現地でNBAの試合を観戦したことだった。ダンサーと観客が一体となっ

て会場全体の雰囲気盛り上げる。「私もこの場に立つてみたいと、強く感じました。」

国内で複数のチームを掛け持ちしながら、技に磨きかけた。そして2004年、アメリカNBA、サクラメント・キングスのオーディションに挑んだ。最終選考まで進んだものの、



今年1月、NBAサクラメントキングスの試合にゲストとして参加

という。しかし、川中さんは諦めていない。「現地にいる先輩や国際弁護士などに相談して、何とかこの問題を解決したいと思っています。もちろん私自身の願いでもあるのですが、私

と同じようにアメリカで踊りたいと憧れを持ってダンスに取り組んでいる人たちのために、道を作りたい。」

今年7月、川中さんは改めてアメリカでオーディションを受ける予定だ。「ビザ問題は未だ難関ですが、自ら行動を起こさないと、何も始まりませんから」。体力の限界が来るまでは現役にこだわりたいと川中さんは言う。「年齢や経験を重ねると、変なプライドが湧いてきて、諦める理由を並べて、つい楽な道を選んでしまいがちです。でも、夢を追求する強い意志を持ち続けなければ、きっと何かが生まれるはず。私は私の生き方を信じて、進んでいきたいと思っています」。応援すること、人を元気づけることがとにかく大好きなんですと川中さんは笑顔で語ってくれた。

P R O F I L E

川中 尚子さん
【1998年商学部卒業】

三菱東京UFJ銀行勤務
フィナンシャルプランナー
社会人アメリカンフットボールリーグ
オールスターチアリーダー
「VENUS WEST」所属



このシリーズは、毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたかを取材しています。級友の方々にとっては良き近況報告、学生諸君には将来のキャリア・プランと学生生活の現実を考える機会になれば幸いです。

顧客のニーズを汲み上げ、 情報セキュリティ対策を提供する。

日立製作所に入社してしばらくは、重電関連の部署で大学向け実験装置の拡販、旧建設省向け発電機や受配電設備の拡販営業を担当していました。しかし、私は文系の出身なので電機設備に関わる技術的知識を持ち合わせていませんでした。特に大学の教授との打ち合わせには必ずエンジニアに同席してもらわなければならず、私はといえば表面的な話にとどまる

的な話をSEに任せきりにはしてられないので、情報処理技術者の資格を取得。ようやく、顧客と対等に話ができるようになったと思っています。その後、いくつかの部署を経て、昨年7月から現在の部署に配属されました。現在は日立のセキュリティブランドを高めるための広告宣伝、マーケティング活動を行っています。「セキュリティ」は企業の関心が非常に高い分野であり、



だけ。歯がゆい思いを抱いていました。

入社して4年が過ぎた頃、インターネットが爆発的に普及し、当社においても、ネットビジネスを推進する社内ベンチャー組織が誕生しました。IT技術に将来性を感じていた私は、この部署で自分の能力を伸ばそうと決意し、社内公募制度を利用して部署を移りました。新部署ではASP事業の立ち上げに携わり、クライアント締結やマーケティング顧客への営業活動など色々な業務を経験することができました。どんなことでも自分で考えて、自分でやりたい、というのが私の性質です。商談の席でも、技術

なおかつ、私自身の判断で仕事を進めることができるので、仕事の面白さを日々実感しています。私は就職活動の際、200社近くに資料請求のハガキを送りました。あらゆる業界の方とお会いして、業界研究だけでは分からないことをたくさん知ることができました。その結果、学生時代には思いもよらなかったこの業界で生きることを決意できたのですから、でも、就職はゴールではありません。これからの世の中、会社内だけの評価や判断基準にとらわれず、自分は社会からどう評価されるのか、客観的に自己を見つめ、次のステージに進む力はあるのか、ということを見問自答しながら、自分を高めていくことが必要だと思っています。

※アプリケーションサーバー・データベース・ビジネス用のアプリケーションソフトをインターネットを通してレンタルする事業者のこと。

吉田 達也さん
【1996年文学部社会学科
産業関係学専攻卒業】
株式会社日立製作所
情報・通信グループ
セキュリティソリューション推進本部勤務

「当時、沢木耕太郎の『深夜特急』という本に感化され、4年次の時にヨーロッパを一人旅しました。人との出会い、コミュニケーションの楽しさを知り、刺激を受けました。何でもっと早く海外を経験しなかったのだろうと後悔しました」と笑う吉田さん。「今はビジネス英会話を頑張っています。30歳を過ぎるとなかなか身につかないもの。やはり英語は学生のうちに勉強しておいたほうがいいですね」。



私と「仕事」

知識だけでなく、人としての
魅力も備えた税理士として
自分自身を研鑽する。

OLという言葉に憧れて、大学卒業後は電子機器の商社に一般職として就職しました。しかし、次第に与えられた作業をこなすだけの仕事に物足りなさを感じるようになりました。「何か資格でも取ろうかな」と考えた時、まず頭に浮かんだのが税理士でした。幼い頃に亡くなった祖父が、税務関係の仕事をしていたのを見ていたからかもしれません。卒業後に専門学校へ通いましたが、早期合格をめざし、1年9カ月で退職。受験勉強に専念し、2年間で4科目に合格しました。そして現在の事務

所に就職した後、3年目で最終合格を果たしました。

先輩の補助業務にあたりながら税理士登録に必要な2年間の期間が過ぎ、ようやく自分の名刺に「税理士」の文字が入りました。お客様の見る目が変わり、身が引き締まる思いがしたものです。

税理士の仕事は税務代理や申告業務、決算書類の作成が主です。しかし年金や社会保険、資金運用など、税金以外にもさまざまな相談が舞い込みます。私は何とかお客様の要望に応えたいと、専門外のこと

も一生懸命勉強しました。

そこで学ばなければ資格を取ろうと、社会保険労務士、CFP資格を取得。仕事と並行しての受験はたいへんでしたが、蓄えた知識を活かしてお客様の課題が解決でき、喜んでもらえることにやりがいを感じます。近年はパソコンの普及により、お客様自身で帳簿を処理できるケースが増えていま

す。税理士もこれまでの仕事に加えて、経営コンサルティングも求められていますので、私一人で処理しきれない場合は、税理士法人としてチームで対応する体制を整えています。

P R O F I L E

大串 恵子さん

【1987年商学部卒業】

税理士法人カオス 社員税理士、
大串恵子社労士事務所 社会保険労務士

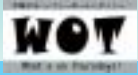
学生時代は硬式テニス同好会に所属。「学生時代は本当にのんびりと過ごしました」と思い出を振り返る。「6年位前に、FP実践講座の講師を担当させていただきました。卒業して、まさか教える立場で大学に戻ってこれると思ってもいませんでした。現在税理士法人カオスでは、インターンシップ生の受け入れをしている。

<http://www.chaos-kk.co.jp/>



税理士は机に向かって計算ばかりする仕事だと思われがちですが、お客様とお会いする機会も多いものです。このような場合でも、知識やテクニクだけでは成り立ちません。私はお客様との約束を守り、依頼にきちんと応えるなど、仕事を確実に、誠実にする中で信頼関係を築くことを心がけて、日々の仕事にあたっています。また、人間としての魅力がないと、お客様から本当の話はしていただけません。そのために、例えば学生時代にじっくりと名作と呼ばれる本を読んだり、何か一つのことについてほしいと思います。

C E M E N T



WOT (ワット) = What's On Thursdays!

合言葉は「木曜日には何かがある!」開講期間中の毎週木曜日、寒梅館ハーディーホールを利用した映画上映・コンサート等、さまざまなプログラムを開催します。

【場 所】ハーディーホール(今出川校地 寒梅館地下1階)

【時 間】①15:30～(5月25日のみ14:30～)
②18:30～(開場は開映時間の30分前)

【料 金】本学学生・教職員:無料 一般:1,000円 他学生:500円
(5月25日はどなたも無料)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

※内容は都合により変更となる場合があります。

Cinema

4月20日(木)「TAKESHIS'」(107分)

監督:北野武 [座頭市]

出演:ビートたけし/京野ことみ/大杉漣/美輪明宏

売れない役者北野と大物タレント・ビートたけし。売れない芸人時代の記憶や現在の自身の姿を重層的に投影させ、2人の「たけし」の幻の競演を実現させた野心作。

4月27日(木)「メゾン・ド・ヒミコ」(131分)

監督:犬童一心 [ジョゼと虎と魚たち]

出演:オダギリジョー/柴咲コウ/田中泯/西島秀俊

癌に冒された父親とその恋人の若く美しい男、そしてゲイである父を嫌う娘。ゲイのための老人ホームで芽生える、彼らの微妙で不思議な関係を描いた愛の感動作。

5月11日(木)「いつか読書する日」(127分)

監督:緒方明 [独立少年合唱団]

出演:田中裕子/岸部一徳/香川照之/仁科亜季子

単調な日常に孤独と恋を秘めた美奈子と高橋。熟年の男女の、どこかなくて大切な最初で最後の大恋愛を、端正な映像と美しい音楽が繊細に綴る作品。

5月25日(木)「誰も知らない」(141分)

監督:是枝裕和 [花より男子]

出演:柳楽優弥/韓英恵/YOU/木村祐一/遠藤憲一/寺島進

母親に置き去りにされ、大人に知られることなく生きていく4人の兄妹たちの姿を丁寧な筆致で描き、柳楽優弥をはじめとする、子どもたちのみずみずしい演技が光る一作。

Concert

5月18日(木)「THE TRIO ジャズコンサート」(京都新聞社主催)

※本学学生・教職員を対象に配付する入場券、または主催者の販売するチケットが必要です。詳細は本学HPや学内掲示板でお知らせします。

※6月1日(木)以降も引き続き映画・コンサート等開催します。

詳細は本学HPや学内掲示板等でお知らせします。



クローバーシアター

毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールで映画史に残る名作を特集上映します。

【場 所】クローバーホール(今出川校地 寒梅館地下1階) 【料 金】無料

【時 間】①16:45～ ②18:00～ ③19:00～(25日のみ19:30～)

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

<4月の特集> 激突!喜劇王

4月11日(火) ①「ロイドの要心無用」②「キートンの探偵学入門」
③「キッド」(チャップリン)

4月18日(火) ①「我輩はカモである」(マルクス兄弟)
②「キートンのセブン・チャンス」
③「黄金狂時代」(チャップリン)

4月25日(火) ①「ローレル&ハーディ天国二人道中」
②「キートンの大列車追跡」③「サーカス」(チャップリン)

※5月2日(火)は休映。5月9日(火)以降の詳細は決まり次第、本学HPや学内掲示板でお知らせします。

同志社ローム記念館プロジェクト

●2005年度同志社ローム記念館大賞発表会

2005年度活動した9件のプロジェクトの中から大賞が決定。「ロームとプロジェクト工場の秘密」をテーマに授賞式イベントを開催します。

【日 時】4月8日(土) 15:00～

【場 所】京田辺校地 同志社ローム記念館劇場空間

●2006年度同志社ローム記念館プロジェクト説明会

【日 時】4月20日(木)・21日(金) 16:45～18:30

【場 所】京田辺校地 同志社ローム記念館劇場空間

2006年度に同志社ローム記念館で活動するプロジェクトのメンバー募集説明会。オンキャンパスで企業体験ができる誘致プロジェクトや、学生のアイデアから生まれた公募プロジェクト、ローム記念館を盛り上げるコアプロジェクトなど、スキルアップをめざしたい方、興味のある方はぜひご参加ください。

【お問い合わせ先】ローム記念館事務局(京田辺校地総務課)

TEL:0774-65-7800

E-mail:jt-rohm@mail.doshisha.ac.jp

「Hardience」(ハーディー友の会)メンバー募集のご案内

今出川校地学生支援課では、より多くの方に、寒梅館のイベントを中心として、本学、および本学学生の活動に関心を持っていただくために、私たちとともに催物を盛り上げていただける方を募集します。ご登録いただきました皆様には、各種催物のご案内や招待券プレゼント等多様な特典をご用意しておりますので、ぜひご利用ください。申込受付は、4月初旬に開始予定です。

【対 象】一般・他学生(本学学生・院生・教職員は対象外とさせていただきます)

【会 費】無料

【申込受付・お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

観に行こう聴きに行こうー学生団体4～5月の活動予定ー

オリエンテーション期間として京田辺校地では4/3～4/7に、今出川校地では4/4～4/6にクラブ・サークル活動紹介・入部受付を行っています。また、新入学生歓迎イベントがぞくぞくと開催されます。

●京田辺校地多目的ホール(ハローホール)

4月10日(月)neuf「Fashion show」 ①12:50～②14:50～

4月11日(火)交響楽団「新歓コンサート」 12:30～

4月15日(土)F・A・C「新入生歓迎ライブ」 13:00～

4月17日(月)学友団執行委員「公認団体のパフォーマンス」 12:30～

4月18日(火)19日(水)邦楽部「新歓演奏会」 時間未定

4月21日(金)24日(月)映画研究会「自主制作映画上映会」 12:00～

4月22日(土)学生テレビ局「ドキュメンタリー上映会」 13:00～

4月27日(木)28日(金)自主制作映画F.B.I.「自主制作映画上映会」 12:00～

5月 9日(火)軽音楽部「新歓コンサート」 13:30～

●今出川校地寒梅館ハーディーホール&クローバーホール

4月22日(土)自主制作映画F.B.I.「上映会」 時間未定

5月 6日(土)ギタークラブ「OBとのコラボレーションコンサート」 時間未定

5月10日(水)マンドリンクラブ「新入生歓迎コンサート」 時間未定

5月20日(土)ヨーロッパ企画「ムービーフェスティバル」 時間未定

●学生保健部会 献血

【日 時】4月17日(月)10:15～15:30(休憩11:15～12:15)

【場 所】今出川校地 明徳館ラウンジ前

【お問い合わせ先】075-251-3283

●マンドリンクラブ 第148回定期演奏会

【日 時】5月27日(土)18:00～20:30

【場 所】大阪府立青少年会館文化ホール

【お問い合わせ先】075-251-4848

※ホームページ(<http://www.doshisha.ac.jp/>)の

「観に行こう聴きに行こう」もご覧ください。

追悼記念礼拝—JR福知山線脱線事故及び福島でのバス事故から1年を覚えて

【日 時】4月25日(火) メディテーション・アワー 12:25～ 礼拝 12:40～13:10
【場 所】京田辺校地 青空チャペル(ラーネッド記念図書館前)

新入生歓迎特別講演会 対談 徳山昌守氏×和泉修氏

WBC世界スーパーフライ級王者・徳山氏。本学OBで徳山氏と親交の深いタレント・和泉氏。お2人から熱いメッセージをいただきます。

【日 時】4月18日(火) 15:00～
【場 所】京田辺校地多目的ホール(ハローホール)
【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410

新入生対象 フレッシュヤーズキャンプ2006 参加者募集!

同級生、上級生&教職員スタッフとふれあう1泊2日。新入生のみなさんが有意義な大学生活を送るきっかけづくりとして、また学部を越えた友人をつくるチャンスとして、ふるってご参加ください!

【日 程】①5月6日(土)～7日(日) ②5月20日(土)～21日(日)
【定 員】各回100人(学部新入生対象)
【参加費】5,700円
【場 所】同志社びわこリトリートセンター
【お申し込み】①4月11日(火)～21日(金) ②4月11日(火)～28日(金) ※先着順受付
3月に郵送されている申込書に記入の上、両校地いずれかの学生支援課へ。受付期間中でも定員を満たすとご参加いただけませんので、お申し込みはお早め。
【お申し込み・お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410
今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

新入生歓迎・筍掘り&焚き火の会

キャンパス内に群生する筍と竹を使って、竹筒ご飯作りに挑戦します。香りがくわしい筍ご飯を楽しみながら、燃え盛る炎の前で語らえば、初対面の人同士もすぐに打ち解けます。大学での初めての友だち作りに、奮ってご参加ください!2年生以上の参加も大歓迎です。

【日 時】4月15日(土) 13:00 リザーブ2集合(事前申込不要)
【参加費】無料
【お問い合わせ先】S-cube(京田辺校地学生支援課・副業館1F)
TEL:0774-65-7021

障がい学生支援制度サポートスタッフ大募集!

同じ大学で学ぶ障がい学生のサポートスタッフを募集しています。初めての方でもできることはたくさんありますので、是非スタッフに登録してください。

《アシスタントスタッフ(有償)》

聴覚障がい学生の講義保障…授業の筆記通訳・パソコン通訳・手話通訳・ビデオ字幕付け

視覚障がい学生の講義保障…授業で使用する教科書のテキストファイル文字校正

《ボランティアスタッフ(無償)》

視覚障がい学生への支援…ガイドヘルプ、対面朗読、代筆など

肢体不自由学生への支援…車椅子介助、代筆など

【お申し込み・お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410
E-mail: jt-gakse@mail.doshisha.ac.jp
今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

函館キャンプ

創立者新島襄が1864年に21歳で国禁を犯して脱国した地、北海道・函館で“新島襄の生き方を学び、同志社を見つめ、人と人との出会いやふれあいの中、自己を振り返ろう”という趣旨で行われる5泊6日の宿泊プログラムです。

【実施時期】8月7日(月)～8月12日(土)
【申込期間】4月から5月にかけて、本学HPや学内掲示板、説明会等でお知らせします。
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

ふらっと b プログラム

開講期間中の水曜日、多目的ホール(ハローホール)では、コンサートや映画上映など、多彩な文化プログラムを行っています。ふらっと… ハローホールにお立ち寄りください。

【場 所】京田辺校地 多目的ホール(ハローホール)

【料 金】無料

【お問い合わせ先】京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410

※いずれも詳細は、掲示や本学HP等でお知らせします。

4月12日(水) さすらいの馬頭琴&ホーミー男
18:30～ 岡林立哉 野外ライブ!

【場所】多目的ホール前広場

4月26日(水) 尺八とジャズピアノ 異色のセッション
12:30～ 演奏:松本太郎(尺八家)、
ロジェー・ワルビヒ(ジャズピアニスト)

5月24日(水) デフ・パペット・シアター・ひとみ
18:30～ おかぐら人形劇 『わんぱくスサノオの大蛇退治』
ろう者と聴者が協同するプロフェッショナルな人形劇団による「スサノオ」の物語。

5月31日(水) ニットキャップシアターがおくる音楽と笑いの夜
16:45～ 出張版『エッチさん、集まれ!』
京都を拠点に活躍する関西要注目劇団の、人気コント集をベースにしたスペシャル版!

6月14日(水) 映画上映 『妖怪大戦争』(124分)
12:30～/15:00～ 監督:三池崇史
出演:神木隆之介/宮迫博之/阿部サダヲ/栗山千明/
菅原文太/豊川悦司/岡村隆史/竹中直人/忌野清志郎 他

6月21日(水) 乞うご期待! 学生企画
時間未定 どんなユニーク企画が飛び出すか?学生自身の手による企画にご期待ください。

7月 5日(水) BROWN NOTE LIVE ～アフリカの吟遊詩人～
時間未定 EPIZO BANGOURA & BANGOURA FAMILY
いにしえから続く、ギニアのグリオ(吟遊詩人)の家系であるバングラー族によるライブ。

ah アッセンブリーアワー学生企画大募集!

各界で活躍中の著名人をお招きして、講演会やコンサート等、さまざまな企画を実施しています。50年以上続く歴史あるプログラムを皆さんの意欲と知識でプロデュースしてください!

【企画の実施期間】5月15日(月)～7月14日(金)

【募集期間】4月3日(月)～4月22日(土)

【募集対象】本学学部生

【企画書提出先】両校地学生支援課(所定の用紙に記入してもらいます)

※詳細は本学HPや学内掲示板でお知らせします。

CLAP「演じてみよう!～身体表現～」参加者募集!

自分自身を表現し、新たな「人とのつながり」を体感できる演劇ワークショップです。終了公演では参加者全員で一つの芝居を創りあげます。

【日程(予定)】4月26日、5月10、17、24、31日、6月7、14、21、28日、
7月5日(いずれも水曜日18:00～21:00)、7月6日(木)公演準備
7月7(金)、8日(土)公演

【会 場】クローバーホール(今出川校地 寒梅館地下1階)

【募 集】25人

【参加費・申込方法】未定 ※詳細は本学HPや学内掲示板でお知らせします。

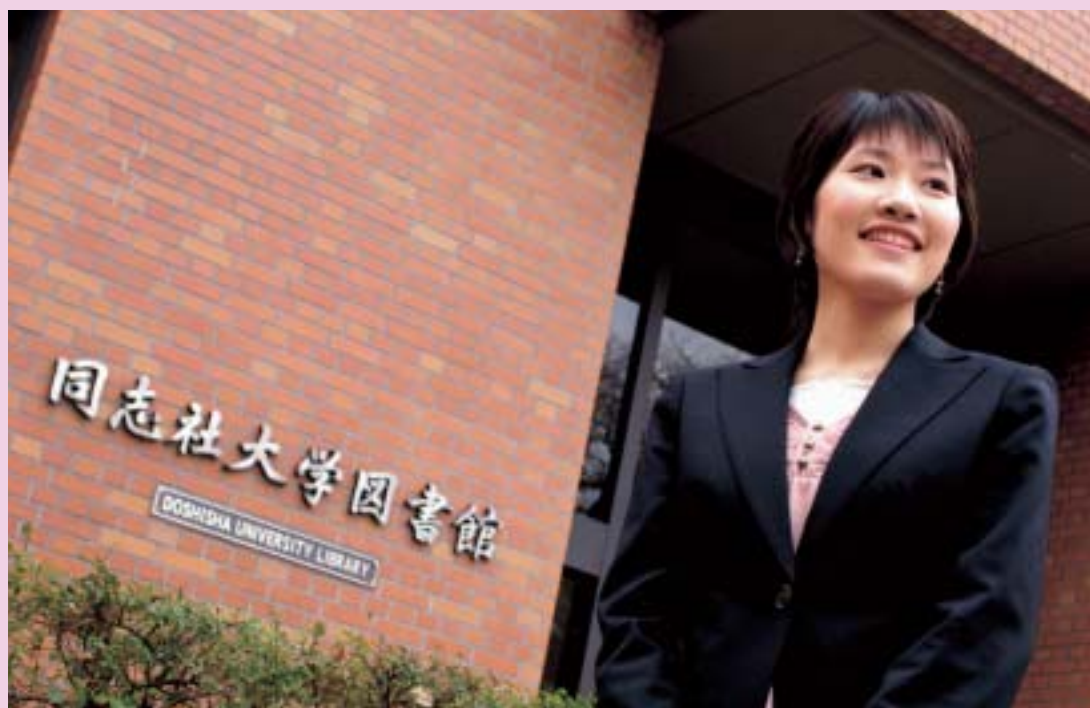
【講 師】二口大学(ふたぐち だいがく)

俳優、演出家、JAU(日本俳優連合)所属、同志社大学第三劇場出身

【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

My Purpose

挑戦する人



公認会計士第二次試験に現役合格

～ふとした興味を目標に変えて～

高校1年生の時、「将来の進路は早く決めたほうがいいよ」という担任の薦めで読んだ数冊の職業ガイド本。その中に、公認会計士についての1冊がありました。難しそうだけど、面白そう。当時はそんな印象でした。商学部に入學した私は、ふと「公認会計士をめざすなら、まずは簿記検定を受検してみよう」と本に書いてあったことを思い出し、大学の簿記検定資格試験講座を受講しました。会計の勉強は、私には合っていたようです。1年次の6月に日商簿記3級検定、2月には難関の2級に合格することができました。このまま頑張つてさらなる難関突破をめざすのか、現状に満足して終えるのか。迷いましたが、高校生の時に描いた夢を叶えてみようと思いを決意しました。夏以降、専門学校に通いながら約2年間の猛勉強を続けました。

Profile



山本 祥子さん
【商学部商学科4年次生】
※学年は取材時

試験まで一気にスパートをかけました。結果、11月に晴れて合格。最近私をずっと見守ってくれていた友人たちに会うたびに感謝の気持ちを伝えていきます。就職先の監査法人での研修もスタートしました。今後は英語に磨きをかけ、英文監査を手がけてみたいと思っています。

会計士への道は、まだ高校生だった私が抱いた、ちょっとした興味が始まりでした。やればできるんだな、というのが率直な感想です。直感を信じて早い段階で目標を設定したことが、良い結果を生みました。私にとっての目標は公認会計士試験でしたが、皆さんも何か目標を定めることで、学生生活を充実させることができます。